

繊維リサイクル技術研究会 『第133回情報交換会』

設立18周年記念総会・講演会

～どうなる？どうしたい！繊維リサイクル～

本研究会設立18周年記念総会・講演会（第133回情報交換会）を開催します。持続可能社会の構築が急がれる中、マイクロプラスチックや、中国の資源ごみ輸入規制など環境に及ぼす様々な問題が生じています。今回は経済産業省製造産業局の荒木課長補佐をお招きして、繊維分野のサステナビリティや中国の資源廃棄物輸入規制が我が国の環境に及ぼす影響等についてお話を伺います。また、繊維廃材の出口が見いだせない状況において、繊維廃材を新材料と考えた場合の商品開発の考え方について花王株式会社で新商品開発を行っておられた忽那氏に特別講義をして頂きます。講演会終了後には講師を囲んで簡単な記念 Party も準備しております。万障お繰り合わせの上、参加していただき、繊維リサイクルの発展について熱く語り合っていると幸いです。

【期日】2019年6月26日（水）14.00～17.10

【会場】京都工芸繊維大学13号館4F多目的室（京都市左京区松ヶ崎御所海道町）

https://www.kit.ac.jp/uni_index/access/

【内容】予定

14.00～14.20 総会

14:30～14:40 開会挨拶

繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

14:40～15:40

記念講演「繊維分野におけるサステナビリティと環境問題に関する国際社会及び国内制度」

経済産業省製造産業局 生活製品課 課長補佐 荒木貴志

15:40～17:10

特別講演「商品開発は材料、素材の仕上げ方」

元花王株式会社 商品開発担当 忽那公範

17:30～19:00 記念 Party（名刺交換会）（場所：センターホール2階大会議室）

【共催】京都工芸繊維大学・繊維科学センター、NPO 未利用資源事業化研究会

【問合せ】繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村照夫

tkimura426@gmail.com